



福中だより

☆☆☆教育目標☆☆☆

希望 創造 潤い

昭島市立福島中学校

令和5年11月1日 NO. 7

042-541-2940

創立44年目（昭和55年開校）

徳って何だろう

校長 前川 法彦

先日、合唱コンクールが終わり、福島中学校の二大行事が終わりました。

とても素晴らしい合唱祭だったと思います。歌を聴いて心が癒されるといってくださる方もいました。皆さんは、仲間とひとつのものをづくりあげたという自信と、「心を込めてがんばれた」というプライドを感じることができたでしょうか。

さて、パナソニックを創業し、いまでは世界的企業へと成長させた松下幸之助さんが、「徳」というものについて話をしています。その中で、技術は教えることができるし習うこともできるが、徳は教えることも習うこともできないということでした。説明が難しいため、徳が高い人と考えられている人がしている行動や習慣を少し紹介します。

(1) ゴミ拾いをする (2) うわさ話や悪口は言わない (3) 当たり前はないと知っている (4) ありがとうとよく言う (5) 見返りを求めない (6) 謙虚さを忘れない等があります。

(1) 大リーグの大谷選手がよくしている行動です。ゴミは人が落とした運だから、拾って自分に運を呼ぶそうです。(2) 解決にはならず結果的に自分に負の感情がたまります。本気で何かに取り組むと悪口を言う暇はなくなってきます。(3) 物事や環境に慣れてくると、雑に扱うようになることがあります。感謝を忘れないことが大切です。(4) 幸せな気持ちになることが増えて幸せを感じやすくなります。積極的になったり、ストレスも軽減されやすくなります。(5) 自分が得をするより相手が幸せになることを考えて損得なしで行動します。(6) 上手くいっているときこそ大切です。ちょっとしたことで周りに感謝や喜べる気持ちが大切です。人は、お互い関わりあい徳のある行動を重ねることで成長するのかもしれません。

身近なところで思い浮かぶことはあったでしょうか。代表を務める人、ひたむきに努力する人、みんなを支える人など福島中でも見ることができます。目立つことを実践するのは楽ですが、表に出にくく目立たない創意工夫やあきらめず努力を積み上げていこうとする姿が、福島中の「徳」（よさ）につながっているのではないかと思います。